

宮城県建設機械リース業協会

平成 26 年度 第 6 回理事会 議事録

日 時 : 平成 27 年 3 月 17 日 (火) 12:00~13:50
場 所 : 協会会議室
出 席 者 : 菅野会長、山本、佐藤、池田、東海林各副会長
後藤、菅原、横山 (代理成澤)、蛭名、野里、五番、中野 (代理米谷)
各理事 星、石井監事 計 14 名
事務局 小原

—配布資料—

1. 定期総会スケジュール表 (H26 年度)
2. 収支報告書 (2/28 現在)
3. 盗難推移報告書 (2/28 現在)
4. 平成 27 年度行事予定
5. 分科会開催状況 (3/12 現在)
6. 新規参入会社概要カード

山本専務理事が、開会にあたり上記出席者を確認し、理事会の成立を確認した。

又、議長は定款第 13 条第 4 項の規定により菅野会長が任にあたることを報告した。

* これより、菅野会長が議長を務めた。

* 菅野会長挨拶(要旨)

・東日本大震災からあつという間の 4 年が経過した。1 千年に一度の大きな災害であった。仙台で開催された、国連防災世界会議にはまだ 2 日だが九万八千人の参加者があると聞いている。私も県産連主催の防災フォーラムに参加したし、多くの会員も参加していたが、パネルディスカッションや中学生による防災計画の策定等を視察できた。

被災地の建設業者の話の中で、建機の確保がそんなにも難しくなかったような感じが受け取れた。これも我々レンタル業者の手配努力の賜物なのか、疑問に感じられた。レンタル業界としての情報発信の不足なのかと感じた。

道路や鉄道等のインフラ整備も順調に完了に近づいている。我々の業界も、次の世代に繋げる努力が更に必要だ。議題の審議とより良い会議となるようご協力をお願いしたい。

議事録署名人…… 北日本建機(株)後藤彰理事、(株)ワキタ星春男理事
の2名を指名した。

1. 本部可発委員会(2/5)報告……菅野会長

- ・本年度も仙台会場で7月8～10日の3日間開催する。
資格取得を目指し、多数の参加をお願いする。特に管理部門の方々の参加をお願いしたい。
- ・ステッカー貼付位置はステッカー等の破損を防ぐ工夫が必要との報告があった。
- ・新規受講者が増えており、試験解答のマーク方式への変更や外部での採点等が検討されている。
- ・東北の開催会場の検討は、仙台開催で決定した。

以下省略

上記について、討議の結果異議なく承認された。

2. 平成26年度収支決算について……小原事務局長

(別紙資料の通り)

- ・収入は当初予定より、大幅に増えた(例会収入が大幅増)、又HP作成費用も当初予定より大幅に少なく済み、翌期繰越金は、昨年並みに確保できそうだ。今後の支出も厳しく対応し、決算を迎えたい。

又、総会資料の作成に関して、三役に一任願いたい。

以下省略

上記について、討議の結果異議なく承認された。

3. 定期総会及び新年度行事計画について

- ・第42回定期総会は平成27年5月14日(木)に開催する。(場所=仙台サンプラザ)
- ・昨年と同規模、同時刻での開催としたい。
- ・5月15日(金)開催のゴルフコンペについては、開催場所の選定に入る。

以下省略

上記について、討議の結果異議なく承認された。

4. その他

- ・東海林分科会実行委員長より説明、
第一線営業担当者合同研修会は6月5日(金)11:00～の開催としたい。
但し、合同会議の内容等の見直しを行いたいので、意見があれば三役までお願いしたい。
- ・佐藤副会長から会社事情により、副会長退任の申し出があった。
＜理事として残って頂き、副会長は4名体制で新年度に対応する。＝菅野会長＞
- ・HPが閲覧できるようになった。是非閲覧の上、意見を頂戴したい。
- ・次回開催日平成27年5月14日(木)16:00～仙台サンプラザ

・事務局員の雇用継続について

小原事務局長・鈴木事務員の雇用を継続することとなった。

<情報交換>

- ・ハウス製作は順調だが、工事部門は不調が続いている（原因は監理者不足）
- ・資機材の返却が増加、ヤード問題も浮上している。
- ・今年は雪が少なく、除雪関係の工事が減った。機材の返却が早くなっている。
- ・この時期は稼働が下がるが、ダンプ等は多忙のようだ。
- ・資機材が戻っているが、水没被害が見受けられる。
- ・舗装工事は、非常に少ない状況だ。
- ・解体工事も皆無の状況だが、民間建築工事を中心に稼働率が上がってきている。
- ・今年度の稼働率が高かったが、継続するかは、分からない。
- ・暖冬の影響がある。民間建築は六県で増加傾向にある。
- ・4～5年がピークと考える。福島も2～3年で除染が完了？
- ・客側の取扱方法に問題があるケースが増えている。
- ・社員教育に、力を入れていきたい。
- ・労災事故等の防止に力を入れる。

以下省略

上記について、討議の結果異議なく承認された。

平成 27 年 3 月 17 日

議事録署名人

理 事 北日本建機㈱

後藤 彰

理 事 ㈱ワキタ

星 春男